

特集①

Special feature

第23回

# 景況感調査アンケート

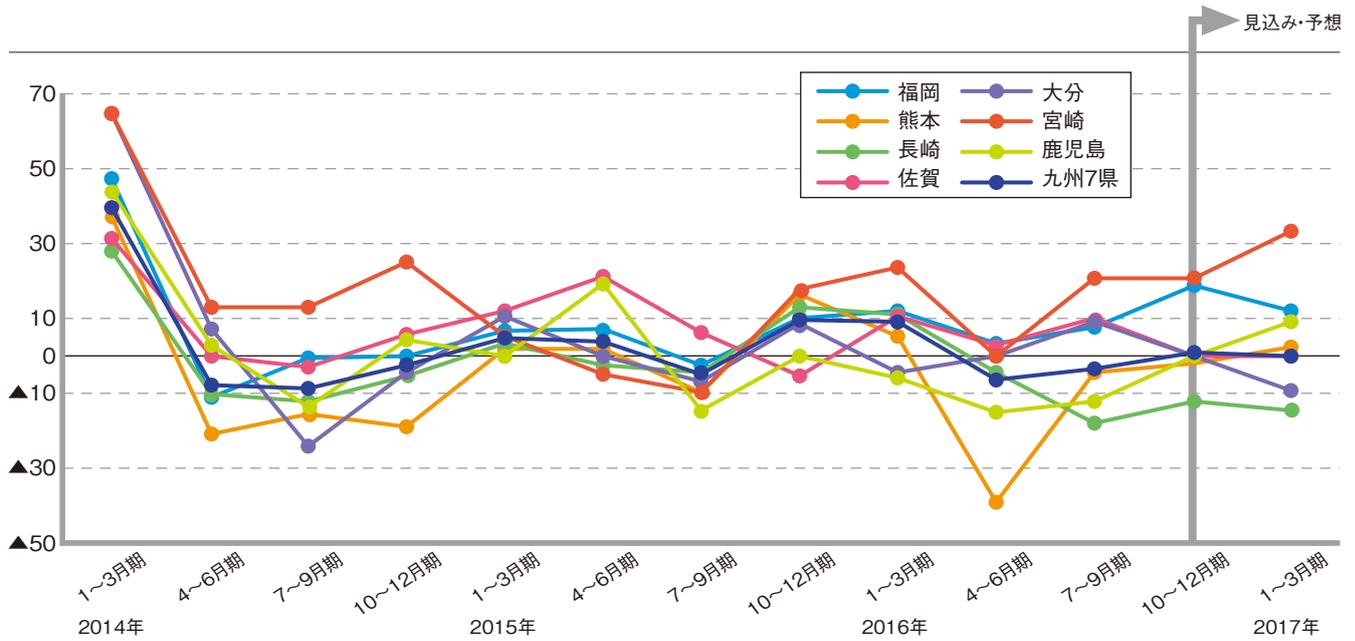
九州7県の企業(2,017社)を対象とした「企業動向調査アンケート(2016年11月実施)」を基に、7県企業の景況感についてレポートします。



景況感の変化  
(BSI調査)

2,017社への  
アンケート結果より

BSIとは景気を判断する上での指数の一つで、アンケート調査において「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた指数です



▲図1 九州7県の業況BSIの推移 (全産業)

【調査の概要】

1. 調査対象

(1)福岡県、熊本県、長崎県、佐賀県、大分県、宮崎県、鹿児島県の7県に所在する企業

(2)7県の業種別構成比を基に無作為抽出

福岡県 395社	(回答企業 95社 回収率24.1%)
熊本県 218社	(回答企業 46社 回収率21.1%)
長崎県 432社	(回答企業 151社 回収率35.0%)
佐賀県 240社	(回答企業 40社 回収率16.7%)
大分県 244社	(回答企業 22社 回収率 9.0%)
宮崎県 243社	(回答企業 24社 回収率 9.9%)
鹿児島県 245社	(回答企業 33社 回収率13.5%)

2. 調査時点:2016年11月

3. 調査方法

(1)調査対象期間

2016年4~6月期:実績、16年7~9月期:実績、16年10~12月期:見込み、2017年1~3月期:予想

(2)分析方法

各期について、前年同期と比較して業況が「良い」と答えた企業割合から「悪い」と答えた企業割合を差し引いた指数 (BSI) を基に経済動向を予測

業種	企業数	構成比(%)	業種	企業数	構成比(%)
食料品	26	6.3	漁業	2	0.5
繊維製品	6	1.5	建設業	60	14.6
化学・石油製品	20	4.9	卸売業	50	12.2
窯業・土石・生コン	26	6.3	小売業	40	9.7
鉄鋼・非鉄	13	3.2	不動産業	19	4.6
金属製品	18	4.4	運輸・倉庫業	22	5.4
一般機械	13	3.2	ホテル・旅館業	11	2.7
電子部品・電気機械	16	3.9	サービス業	41	10.0
輸送用機械	15	3.6	合計	411	100.0
その他製造業	13	3.2			

▲表1 回答企業の業種別構成

7県企業の景況感

内閣府が公表した2016年7~9月期のGDP(2次速報値)は、物価変動を除いた実質成長率が前期比+0.3%(年率1.3%)と、3四半期連続でプラス成長となりました(前年同期比の実質成長率は+1.1%)。

九州7県の業況BSI(改善-悪化)を見てみると、「2016年7~9月期(以下、実績)」は▲4(前期比+3)、「10~12月期(以下、見込み)」は+1(同+5)、「2017年1~3月期(以下、予想)」は±0(同▲1)となりました。実績・見込みは改善、予想は横ばいとなっており、熊本地震による影響が和らぎ、復興需要等を背景に緩やかながらも改善に向けた動きが見られています。

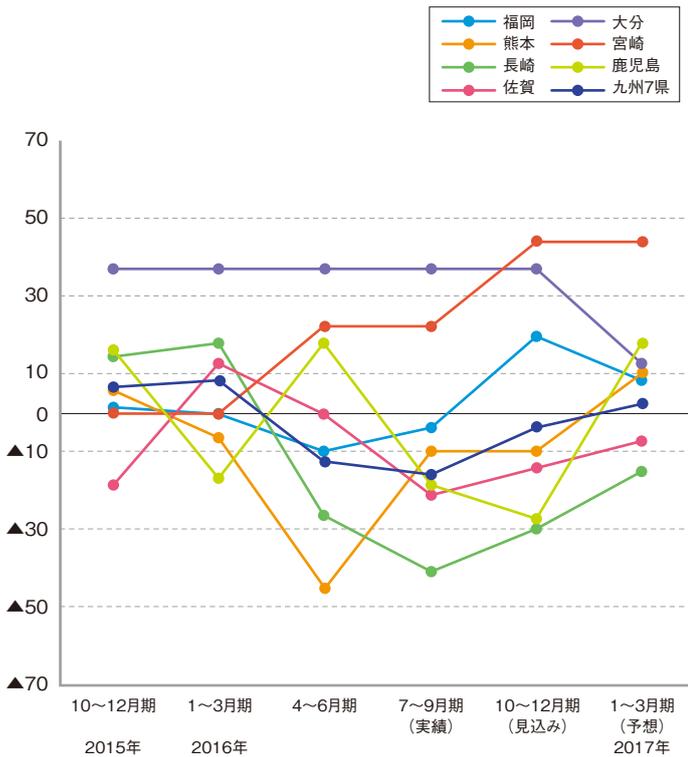
県別に業況BSIの推移(実績) ↓見込み↓予想)を見てみると、福岡県は+8 ↓+19 ↓+12、熊本県は▲4 ↓▲2 ↓+2、長崎県は▲18 ↓▲12 ↓▲15、佐賀県は+10 ↓±0 ↓±0、大分県は+9 ↓±0 ↓▲9、宮崎県は+21 ↓+21 ↓+33、鹿児島

鳥島は▲12(±0)↓+9と、地震の影響が大きかった熊本県を中心に回復の動きが見られる一方、弱さが見られる地域もあります。

## 製造業

熊本地震からの復興が続くなかで、持ち直しの動きがみられる

製造業の業況BSIの実績を見ると、福岡県は▲4(前期比+6)、熊本県は▲10(同+35)、長崎県は▲41(同▲15)、佐賀県は▲21



▲図2 九州7県の業況BSIの推移 (製造業)

(同▲21)、大分県は+38(同±0)、宮崎県は+22(同±0)、鹿児島県は▲18(同▲36)となっています。見込みは、鹿児島県以外の6県で改善または横ばいとなっており、熊本地震の影響から立ち直り、復興の動きが進みつつあることが伺えます。

見込みを業種別に見ると、化学・石油製品と一般機械以外は全ての業種で改善または横ばいとなっており、特に復興需要が期待される鉄鋼・非鉄が+31(前期比+39)と

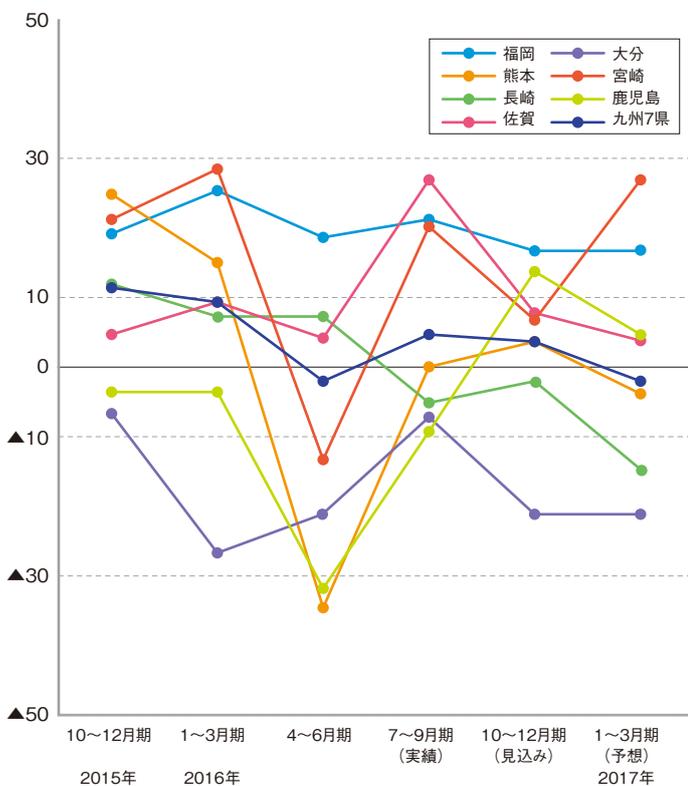
大きく上昇しています。

予想は、福岡県、大分県を除く5県が改善または横ばいとなっています。

## 非製造業

弱さがみられるものの、底堅く推移する見込みである

非製造業の業況BSIの実績を見ると、福岡県は+21(前期比+3)、熊本県は±0(同+35)、長崎県は▲5(同▲13)、佐賀県は+27(同+23)、大分県は▲7(同+14)、宮崎県



▲図3 九州7県の業況BSIの推移 (非製造業)

は+20(同+33)、鹿児島県は▲9(同+23)となっています。見込みは、復興需要が続く熊本県等は改善となっているものの、福岡県、佐賀県、大分県、宮崎県では悪化となっています。

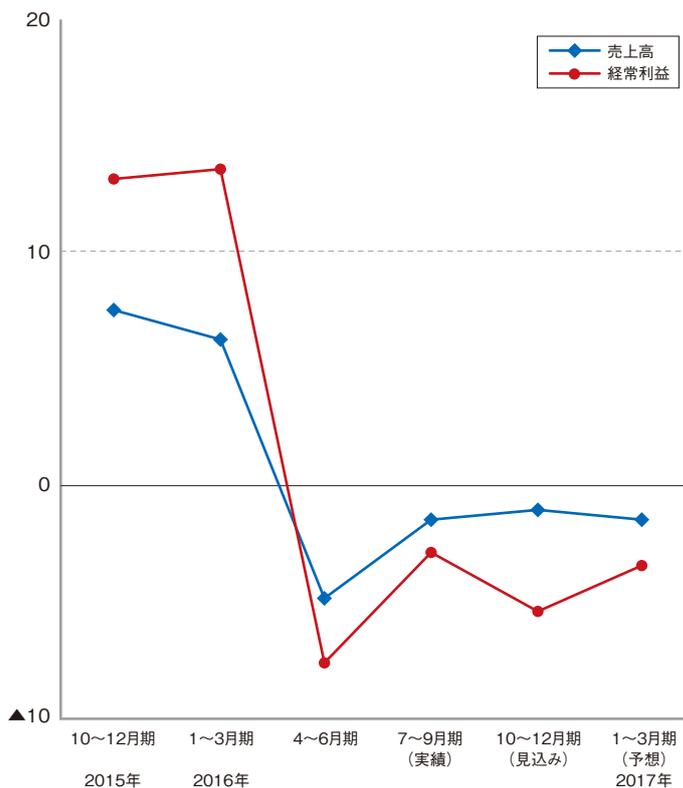
見込みを業種別に見ると、ホテル・旅館業が7月から開始された「九州ふっこう割」の効果もあって▲9(前期比+36)と大きく改善しています。予想は、宮崎県を除く全県で横ばいまたは悪化となっており、先行

きには復興需要が一巡すること等を背景に慎重さが見られています。

## 売上高、経常利益

熊本地震の影響からほぼ回復し、製造業を中心に緩やかな持ち直しの動きがみられる

売上高BSI(増加―減少)を見ると、実績は▲2(前期比+3)、見込みは▲1(同+1)と緩やかながら改善しています。見込みを業種別に見ると、製造業では鉄鋼・非鉄が+15(同+62)、窯業・土石・生



▲図4 売上高BSI、経常利益BSIの推移

ンが±0(同+31)等、復興需要等が期待される業種を中心に改善している業種が多くなっている一方で、運輸・倉庫業が+9(同▲14)、サービス業が+8(同▲12)と、非製造業では悪化している業種が多くなっています。

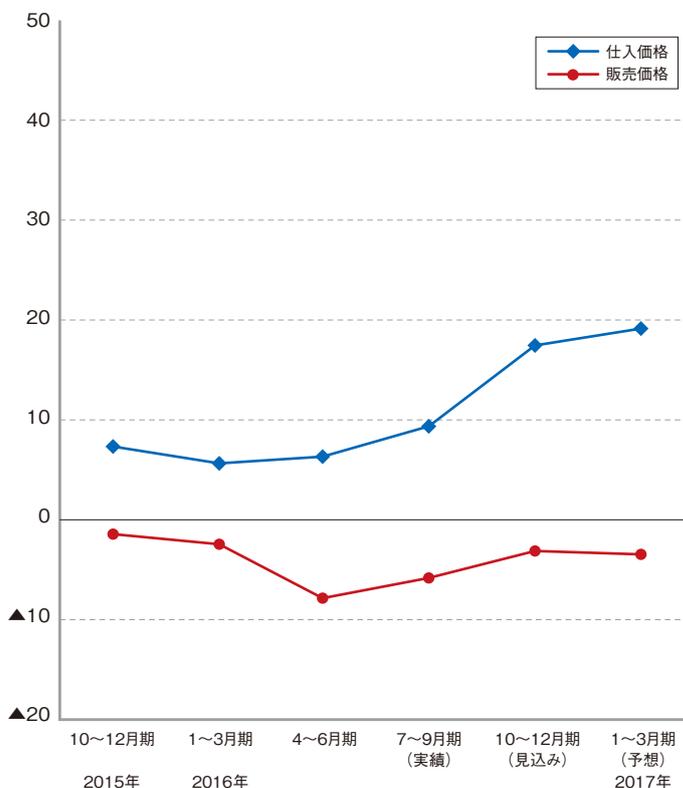
経常利益BSI(増加―減少)を見ると、実績は▲3(前期比+5)、見込みは▲5(同▲2)と、原材料価格の上昇等が圧迫要因となっており、売上高BSIを下回る状況となっています。見込みを業種別に見

ると、売上同様、鉄鋼・非鉄が+31(同+69)、金属製品が±0(同+22)と、製造業では改善している業種が多くなっている一方で、運輸・倉庫業が+9(同▲18)、小売業が▲18(同▲8)と、非製造業で悪化している業種が多くなっています。

## 仕入価格、販売価格

販売価格は緩やかながら改善しているものの、仕入価格の上昇に追いつかない

仕入価格BSI(上昇―低下)



▲図5 仕入価格BSI、販売価格BSIの推移

の実績は+9(前期比+3)、見込みは+17(同+8)、予想は+19(同+2)と、秋以降の円安や原材料価格上昇の影響等により、プラスの幅が拡大しています。

一方で、販売価格BSI(上昇―低下)の実績は▲6(前期比+2)、見込みは▲3(同+3)、予想は▲4(同▲1)と改善の方向にあるものの、依然として「低下」の回答の方が多くなっている状況であることから、企業収益への圧迫が懸念されます。

(諸限 あきこ)

# 業況BSIの詳細

(単位:%、ポイント)

福岡県	2016年4~6期(実績)				2016年7~9期(実績)				差異	2016年10~12期(見込み)				差異	2017年1~3期(予想)				差異
	改善	不変	悪化	BSI	改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI	
全産業	30.1	43.0	26.9	3.2	34.8	38.0	27.2	7.6	4.4	31.5	55.4	13.0	18.5	10.9	27.5	57.1	15.4	12.1	▲6.4
製造業	26.0	38.0	36.0	▲10.0	26.0	44.0	30.0	▲4.0	6.0	34.0	52.0	14.0	20.0	24.0	24.5	59.2	16.3	8.2	▲11.8
食料品	0.0	66.7	33.3	▲33.3	0.0	83.3	16.7	▲16.7	16.7	33.3	50.0	16.7	16.7	33.3	16.7	66.7	16.7	0.0	▲16.7
化学・石油製品	30.0	50.0	20.0	10.0	40.0	50.0	10.0	30.0	20.0	20.0	70.0	10.0	10.0	▲20.0	10.0	60.0	30.0	▲20.0	▲30.0
土石・生コン	20.0	30.0	50.0	▲30.0	20.0	40.0	40.0	▲20.0	10.0	20.0	70.0	10.0	10.0	30.0	10.0	80.0	10.0	0.0	▲10.0
鉄鋼・非鉄	16.7	50.0	33.3	▲16.7	16.7	66.7	16.7	0.0	16.7	66.7	16.7	16.7	50.0	50.0	66.7	16.7	16.7	50.0	0.0
金属製品	42.9	14.3	42.9	0.0	42.9	14.3	42.9	0.0	0.0	57.1	14.3	28.6	28.6	28.6	16.7	50.0	33.3	▲16.7	▲45.2
一般機械	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	25.0	25.0	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0
電子部品・電気機械	33.3	0.0	66.7	▲33.3	33.3	0.0	66.7	▲33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	66.7	100.0	33.3	66.7	0.0	33.3	▲33.3
輸送用機械	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	▲25.0	▲50.0	0.0	75.0	25.0	▲25.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	75.0
非製造業	34.9	48.8	16.3	18.6	45.2	31.0	23.8	21.4	2.8	28.6	59.5	11.9	16.7	▲4.8	31.0	54.8	14.3	16.7	0.0
建設業	26.7	60.0	13.3	13.3	60.0	33.3	6.7	53.3	40.0	33.3	66.7	0.0	33.3	▲20.0	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0
卸売業	37.5	50.0	12.5	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	62.5	12.5	12.5	▲12.5	25.0	37.5	37.5	▲12.5	▲25.0
小売業	66.7	33.3	0.0	66.7	66.7	16.7	16.7	50.0	▲16.7	33.3	50.0	16.7	16.7	▲33.3	33.3	50.0	16.7	16.7	0.0
不動産業	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3
運輸・倉庫業	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	▲50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
ホテル・旅館業	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	200.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
サービス業	33.3	50.0	16.7	16.7	20.0	40.0	40.0	▲20.0	▲36.7	20.0	40.0	40.0	▲20.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	20.0

(単位:%、ポイント)

熊本県	2016年4~6期(実績)				2016年7~9期(実績)				差異	2016年10~12期(見込み)				差異	2017年1~3期(予想)				差異
	改善	不変	悪化	BSI	改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI	
全産業	13.0	34.8	52.2	▲39.1	34.8	26.1	39.1	▲4.3	34.8	30.4	37.0	32.6	▲2.2	2.2	33.3	35.6	31.1	2.2	4.4
製造業	10.0	35.0	55.0	▲45.0	30.0	30.0	40.0	▲10.0	35.0	25.0	40.0	35.0	▲10.0	0.0	40.0	30.0	30.0	10.0	20.0
食料品	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
化学・石油製品	0.0	33.3	66.7	▲66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	66.7	33.3	▲33.3	▲33.3	0.0	33.3	66.7	▲66.7	▲33.3
土石・生コン	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
金属製品	0.0	33.3	66.7	▲66.7	0.0	33.3	66.7	▲66.7	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	66.7	66.7	33.3	0.0	66.7	66.7
一般機械	0.0	0.0	100.0	▲100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	200.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
電子部品・電気機械	16.7	16.7	66.7	▲50.0	33.3	0.0	66.7	▲33.3	16.7	33.3	16.7	50.0	▲16.7	16.7	50.0	16.7	33.3	16.7	33.3
輸送用機械	0.0	0.0	100.0	▲100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	▲50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0
非製造業	15.4	34.6	50.0	▲34.6	38.5	23.1	38.5	0.0	34.6	34.6	34.6	30.8	3.8	3.8	28.0	40.0	32.0	▲4.0	▲7.8
建設業	16.7	66.7	16.7	0.0	50.0	33.3	16.7	33.3	33.3	50.0	33.3	16.7	33.3	0.0	50.0	33.3	16.7	33.3	0.0
卸売業	20.0	40.0	40.0	▲20.0	20.0	20.0	60.0	▲40.0	▲20.0	40.0	0.0	60.0	▲20.0	20.0	20.0	40.0	40.0	▲20.0	0.0
小売業	25.0	50.0	25.0	0.0	75.0	0.0	25.0	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	▲25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0
不動産業	0.0	50.0	50.0	▲50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
運輸・倉庫業	0.0	0.0	100.0	▲100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	▲50.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	0.0
ホテル・旅館業	0.0	0.0	100.0	▲100.0	25.0	25.0	50.0	▲25.0	75.0	25.0	75.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	50.0	▲25.0	▲50.0
サービス業	33.3	0.0	66.7	▲33.3	33.3	0.0	66.7	▲33.3	0.0	33.3	0.0	66.7	▲33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	▲33.3	0.0

# 業況BSIの詳細

(単位:%、ポイント)

長崎県	2016年4~6期(実績)				2016年7~9期(実績)				差異	2016年10~12期(見込み)				差異	2017年1~3期(予想)				差異
	改善	不変	悪化	BSI	改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI	
全産業	19.6	56.1	24.3	▲4.7	16.9	48.0	35.1	▲18.2	▲13.5	17.4	53.0	29.5	▲12.1	6.2	12.8	59.7	27.5	▲14.8	▲2.7
製造業	13.0	48.1	38.9	▲25.9	13.0	33.3	53.7	▲40.7	▲14.8	11.1	48.1	40.7	▲29.6	11.1	13.0	59.3	27.8	▲14.8	14.8
食料品	11.1	55.6	33.3	▲22.2	11.1	33.3	55.6	▲44.4	▲22.2	0.0	66.7	33.3	▲33.3	11.1	0.0	77.8	22.2	▲22.2	11.1
繊維製品	0.0	50.0	50.0	▲50.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲50.0	0.0	25.0	75.0	▲75.0	25.0	0.0	75.0	25.0	▲25.0	50.0
窯業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
土石・生コン	9.1	45.5	45.5	▲36.4	9.1	36.4	54.5	▲45.5	▲9.1	18.2	54.5	27.3	▲9.1	36.4	45.5	54.5	0.0	45.5	54.5
鉄鋼・非鉄	33.3	0.0	66.7	▲33.3	33.3	16.7	50.0	▲16.7	16.7	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	66.7	33.3	▲33.3	▲33.3
金属製品	0.0	66.7	33.3	▲33.3	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲66.7	0.0	33.3	66.7	▲66.7	33.3	33.3	0.0	66.7	▲33.3	33.3
一般機械	0.0	50.0	50.0	▲50.0	0.0	25.0	75.0	▲75.0	▲25.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲25.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0
電子部品・電気機械	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	▲50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
輸送用機械	12.5	50.0	37.5	▲25.0	12.5	62.5	25.0	▲12.5	12.5	12.5	75.0	12.5	0.0	12.5	0.0	75.0	25.0	▲25.0	▲25.0
その他製造業	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	▲50.0	0.0	33.3	66.7	▲66.7	▲16.7	0.0	66.7	33.3	▲33.3	33.3
非製造業	23.4	60.6	16.0	7.4	19.1	56.4	24.5	▲5.3	▲12.8	21.1	55.8	23.2	▲2.1	3.2	12.6	60.0	27.4	▲14.7	▲12.6
漁業	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	▲100.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	0.0
建設業	12.5	83.3	4.2	8.3	8.3	83.3	8.3	0.0	▲8.3	8.3	70.8	20.8	▲12.5	▲12.5	8.3	50.0	41.7	▲33.3	▲20.8
卸売業	26.1	52.2	21.7	4.3	21.7	43.5	34.8	▲13.0	▲17.4	17.4	52.2	30.4	▲13.0	0.0	8.7	69.6	21.7	▲13.0	0.0
小売業	23.5	47.1	29.4	▲5.9	23.5	41.2	35.3	▲11.8	▲5.9	33.3	33.3	33.3	0.0	11.8	22.2	44.4	33.3	▲11.1	▲11.1
不動産業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸・倉庫業	50.0	33.3	16.7	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	▲33.3	50.0	33.3	16.7	33.3	33.3	50.0	33.3	16.7	33.3	0.0
ホテル・旅館業	0.0	33.3	66.7	▲66.7	0.0	33.3	66.7	▲66.7	0.0	0.0	66.7	33.3	▲33.3	33.3	0.0	66.7	33.3	▲33.3	0.0
サービス業	31.3	62.5	6.3	25.0	25.0	56.3	18.8	6.3	▲18.8	31.3	62.5	6.3	25.0	18.8	6.3	81.3	12.5	▲6.3	▲31.3

(単位:%、ポイント)

佐賀県	2016年4~6期(実績)				2016年7~9期(実績)				差異	2016年10~12期(見込み)				差異	2017年1~3期(予想)				差異
	改善	不変	悪化	BSI	改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI	
全産業	28.2	46.2	25.6	2.6	32.5	45.0	22.5	10.0	7.4	27.5	45.0	27.5	0.0	▲10.0	17.5	65.0	17.5	0.0	0.0
製造業	28.6	42.9	28.6	0.0	21.4	35.7	42.9	▲21.4	▲21.4	28.6	28.6	42.9	▲14.3	7.1	21.4	50.0	28.6	▲7.1	7.1
食料品	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	▲66.7	33.3	0.0	66.7	▲33.3	▲33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3
繊維製品	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
化学・石油製品	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
窯業	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
鉄鋼・非鉄	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
金属製品	0.0	50.0	50.0	▲50.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	0.0
一般機械	0.0	50.0	50.0	▲50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
電子部品・電気機械	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲100.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0
その他製造業	100.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	▲100.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲50.0
非製造業	28.0	48.0	24.0	4.0	38.5	50.0	11.5	26.9	22.9	26.9	53.8	19.2	7.7	▲19.2	15.4	73.1	11.5	3.8	▲3.8
建設業	0.0	100.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲33.3
卸売業	50.0	25.0	25.0	25.0	75.0	25.0	0.0	75.0	50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	▲75.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
小売業	0.0	33.3	66.7	▲66.7	25.0	50.0	25.0	0.0	66.7	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
不動産業	50.0	25.0	25.0	25.0	75.0	0.0	25.0	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	▲25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	▲25.0
運輸・倉庫業	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	25.0	75.0	0.0	25.0	▲25.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲25.0
ホテル・旅館業	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲100.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
サービス業	0.0	66.7	33.3	▲33.3	0.0	83.3	16.7	▲16.7	16.7	0.0	66.7	33.3	▲33.3	▲16.7	0.0	83.3	16.7	▲16.7	16.7

# 業況BSIの詳細

(単位:%、ポイント)

大分県	2016年4~6期(実績)				2016年7~9期(実績)				差異	2016年10~12期(見込み)				差異	2017年1~3期(予想)				差異
	改善	不変	悪化	BSI	改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI	
全産業	31.8	36.4	31.8	0.0	40.9	27.3	31.8	9.1	9.1	27.3	45.5	27.3	0.0	▲9.1	13.6	63.6	22.7	▲9.1	▲9.1
製造業	50.0	37.5	12.5	37.5	62.5	12.5	25.0	37.5	0.0	62.5	12.5	25.0	37.5	0.0	25.0	62.5	12.5	12.5	▲25.0
繊維製品	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
化学・石油製品	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲100.0
金属製品	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
一般機械	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
電子部品・電気機械	33.3	66.7	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲33.3
非製造業	21.4	35.7	42.9	▲21.4	28.6	35.7	35.7	▲7.1	14.3	7.1	64.3	28.6	▲21.4	▲14.3	7.1	64.3	28.6	▲21.4	0.0
建設業	0.0	66.7	33.3	▲33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	▲66.7	▲66.7
卸売業	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	▲100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0
小売業	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
不動産業	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	50.0
運輸・倉庫業	33.3	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	66.7	66.7	33.3	66.7	0.0	33.3	▲33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0
サービス業	0.0	50.0	50.0	▲50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	▲50.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	0.0

(単位:%、ポイント)

宮崎県	2016年4~6期(実績)				2016年7~9期(実績)				差異	2016年10~12期(見込み)				差異	2017年1~3期(予想)				差異
	改善	不変	悪化	BSI	改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI	
全産業	25.0	50.0	25.0	0.0	37.5	45.8	16.7	20.8	20.8	29.2	62.5	8.3	20.8	0.0	37.5	58.3	4.2	33.3	12.5
製造業	44.4	33.3	22.2	22.2	55.6	11.1	33.3	22.2	0.0	44.4	55.6	0.0	44.4	22.2	44.4	55.6	0.0	44.4	0.0
食料品	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
化学・石油製品	100.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	▲100.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
土石・生コン	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
電子部品・電気機械	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
その他製造業	25.0	50.0	25.0	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0
非製造業	13.3	60.0	26.7	▲13.3	26.7	66.7	6.7	20.0	33.3	20.0	66.7	13.3	6.7	▲13.3	33.3	60.0	6.7	26.7	20.0
建設業	50.0	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0	0.0	50.0	25.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	75.0	25.0	0.0	75.0	25.0
小売業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	▲50.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0
不動産業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
運輸・倉庫業	0.0	0.0	100.0	▲100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	200.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
ホテル・旅館業	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	0.0	75.0	25.0	▲25.0	25.0	75.0	0.0	25.0	50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	▲25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0

(単位:%、ポイント)

鹿児島県	2016年4~6期(実績)				2016年7~9期(実績)				差異	2016年10~12期(見込み)				差異	2017年1~3期(予想)				差異
	改善	不変	悪化	BSI	改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI		改善	不変	悪化	BSI	
全産業	15.2	54.5	30.3	▲15.2	15.2	57.6	27.3	▲12.1	3.0	27.3	45.5	27.3	0.0	12.1	21.2	66.7	12.1	9.1	9.1
製造業	36.4	45.5	18.2	18.2	9.1	63.6	27.3	▲18.2	▲36.4	9.1	54.5	36.4	▲27.3	▲9.1	18.2	81.8	0.0	18.2	45.5
食料品	66.7	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	66.7	▲66.7	▲133.3	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
化学・石油製品	0.0	66.7	33.3	▲33.3	0.0	66.7	33.3	▲33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	▲33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	33.3
土石・生コン	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
金属製品	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
輸送用機械	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
その他製造業	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
非製造業	4.5	59.1	36.4	▲31.8	18.2	54.5	27.3	▲9.1	22.7	36.4	40.9	22.7	13.6	22.7	22.7	59.1	18.2	4.5	▲9.1
建設業	0.0	100.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	75.0	75.0	50.0	50.0	0.0	50.0	▲25.0
卸売業	20.0	20.0	60.0	▲40.0	0.0	60.0	40.0	▲40.0	0.0	20.0	40.0	40.0	▲20.0	20.0	0.0	80.0	20.0	▲20.0	0.0
小売業	0.0	50.0	50.0	▲50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	▲25.0
不動産業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
運輸・倉庫業	0.0	50.0	50.0	▲50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
ホテル・旅館業	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	▲100.0	0.0
サービス業	0.0	75.0	25.0	▲25.0	50.0	25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0

特集②

Special feature

第25回

# 事業者アンケート

九州7県の企業(2,017社)を対象  
としたアンケート(2016年11月実施  
/テーマ:ワーク・ライフ・バランス)  
の結果についてレポートします。



ワーク・ライフ・  
バランス

# ワーク・ライフ・バランス

ますます加速していく少子高齢化や将来の労働力人口の減少に歯止めをかけるため、政府は誰もが活躍できる「一億総活躍社会」の実現に向けた取り組みを進めています。その取り組みとして「働き方改革」を掲げており、その一躍を担う「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」に対する関心はますます高まっています。やりがいや充実感を感じることのできる仕事と、健康で豊かな生活の両立を実現させることは、働く方の仕事に対するモチベーションを高め、ひいては労働生産性の改善にもつながります。

今回は、「ワーク・ライフ・バランス」実現に向けた取り組み状況等についてアンケートを実施しました。

## 〔調査結果の概要〕

今回の「ワーク・ライフ・バランス」に対する調査結果の概要は以下のとおりです。

- ① 小規模企業を中心にワーク・ライフ・バランスに取り組みたい意向を有しているものの、人材不足等で取り組めていない企業が多い
- ② 取り組むことによつて効果を感じている企業が多く、特に積極的に取り組んでいる企業ほど高い効果を感じている
- ③ ワーク・ライフ・バランス実現のためには、従業員や経営者がそのメリットや必要性を十分に認識し、一体となって業務の見直し等に取り組むことが必要

職場企業の「ワーク・ライフ・バランス」実現に向けた取り組みはまだ道半ばの状況にあります。「ワーク・ライフ・バランス」の実現には私たち一人ひとりがそのメリットや必要性を理解し、全員で取り組むことが重要です。そうすることで、企業として社会の風土が変わり、質の高い仕事と満足度の高い生活の両立を実現できるよ

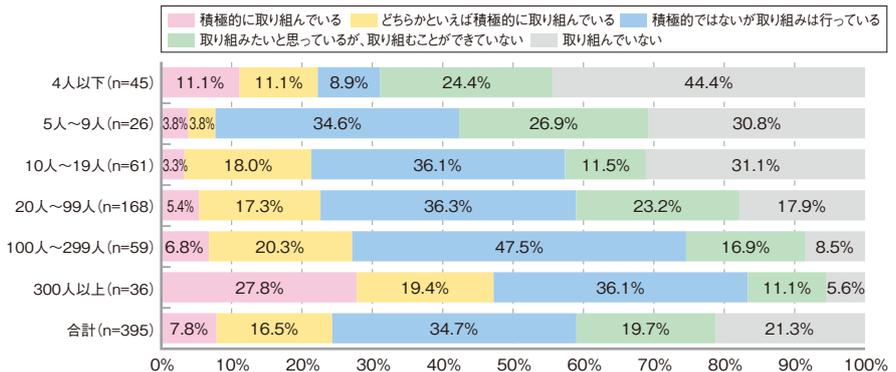
**Q. ワーク・ライフ・バランス実現のための取り組みを行っていますか？**

**A. 「取り組んでいる」と回答した企業は約6割に留まる**

ワーク・ライフ・バランス実現のための取り組みを行っているか尋ねたところ、「積極的に取り組んでいる」との回答が7.8%、「どちらかといえば積極的に取り組んでいる」が16.5%、「積極的ではないが取り組んでいる」が34.7%と、回答した企業は全体の59.0%に留まりました。

従業員規模別に見ると、従業員の少ない企業ほど、「取り組んでいる」との回答が多くなっており、また従業員数が少ない10人未満（4人以下、5～9人）の企業では約4分の1が「取り組むか」と思っているが、取り組むことができない」と回答しています。

▼図1 ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいるか（従業員規模別）

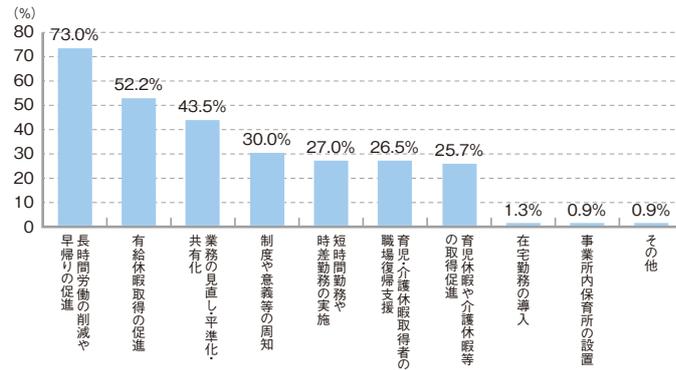


**Q. ワーク・ライフ・バランス実現のためにどのような取り組みを行っていますか？**  
(複数回答)

**A. 約7割の企業が「長時間労働の削減や早帰りの促進」と回答**

ワーク・ライフ・バランス実現のためにどのような取り組みを行っている

▼図2 ワーク・ライフ・バランス実現のために取り組んでいること n=230



るか尋ねたところ、「長時間労働の削減や早帰りの促進」との回答が73.0%と最も多く、次いで「有給休暇取得の促進(52.2%)」、「業務の見直し・平準化共有化(43.5%)」となりました。

また、女性従業員の多い企業ほど「育児・介護休暇取得者の職場復帰支援」に注力する傾向が見られます(女性従業員の割合が0~1割の企業・12.0%、同2~4割・28.3%、同5~7割・37.5%、同8~10割・46.7%)。

**Q. ワーク・ライフ・バランス実現のための取り組みを行って、どのような効果がありましたか？(複数回答)**

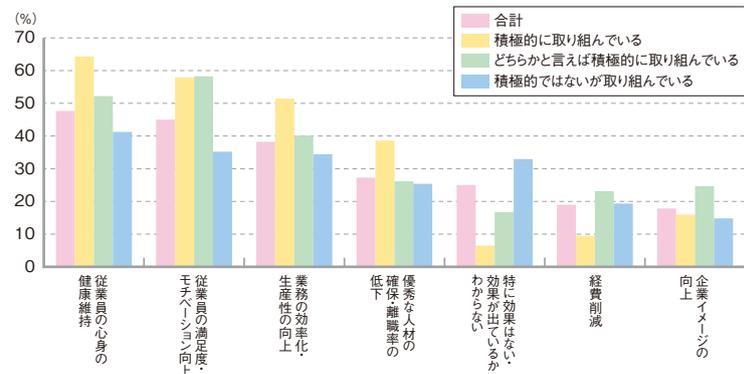
**A. 約半数の企業が「従業員の心身の健康維持」「従業員の満足度・モチベーション向上」と回答**

ワーク・ライフ・バランス実現のための取り組みを行って、どのような効果があったか尋ねたところ、「従業員の心身の健康維持」との回答が47.6%、次いで「従業員の満足度・モチベーション向上(45.0%)」が続き、およそ半数の企業が従業員の心や身体、意識の面でプラスの効果を感じているようです。また、「業務の効率化・生産性の向上(38.4%)」や「経費削減(19.2%)」等、企業経営にとってプラスの効果を感じているとの回答も見られます。一方で、ワーク・ライフ・バランスに向けた取り組みは目に見える効果の測定が難しいことから、「特に効果はない・効果が出ていないか分からない」との回答も24.9%にのびました。

取り組み状況別に見ると、ワー

ク・ライフ・バランスの実現に積極的に取り組んでいる企業ほどそのプラスの効果を感じているようです。

▼図3 取り組みの効果(取り組み状況別) n=229



**Q. ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいない理由や期待したほどの効果が出ていない理由、また取り組み上で課題となっていることは何ですか？(複数回答)**

**A. 約半数の企業が「人員不足・推進体制が構築できていない」と回答**

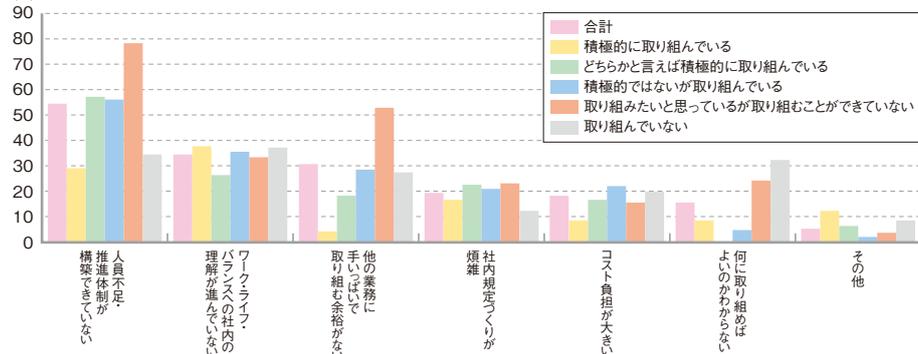
ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいない理由や期待したほどの効果が出ていない理由、また取り組み上で課題となっていることについて尋ねたところ、54.3%の企業が「人員不足・推進体制が構築できていない」と回答し、また30.6%の企業が「他の業務に手いっぱい取り進む余裕がない」と回答するなど、労働需給が逼迫する中(九州の2016年10月の有効求人倍率・1.29)で、人力的な余裕がないことが取り組み上の大きな課題になっています。また、「ワーク・ライフ・バランスへの社内の理解が進んでいない」との回答も多く(34.1%)、働き方に対する意識面の改革に苦労している企業も多いようです。

取り組み状況別に見ると、現在ワーク・ライフ・バランスへの取り組み意向を有しているものを取り組んでいない企業で特に「人員不足・推進体制が構築できていない(78.2%)」、「他の業務に手いっぱい取り進む余裕がない(52.6%)」との回答が多くなっています。

**Q. ワーク・ライフ・バランスについて今後取り組みたいことや、さらに力を入れて取り組みたいことは何ですか？（複数回答）**

**A. 約半数の企業が「業務の見直し・平準化・共有化」「長時間労働の削減や早帰りの促進」と回答**

▼図4 取り組んでいない理由、期待したほどの効果が出ていない理由、取り組む上で課題となっていること（取り組み状況別） n=337



ワーク・ライフ・バランス実現に向けて今後取り組みたいことや、さらに力を入れて取り組みたいことについて尋ねたところ、「業務の見直し・平準化・共有化」との回答が51.8%と最も多く、次いで「長時間労働の削減や早帰りの促進（50.7%）」、「有給休暇取得の促進（40.3%）」となつていきます。ワーク・ライフ・バランスの実効性をより高めるためには、業務自体の見直しを行うことが重要と認識している企業が多くなつていきます。

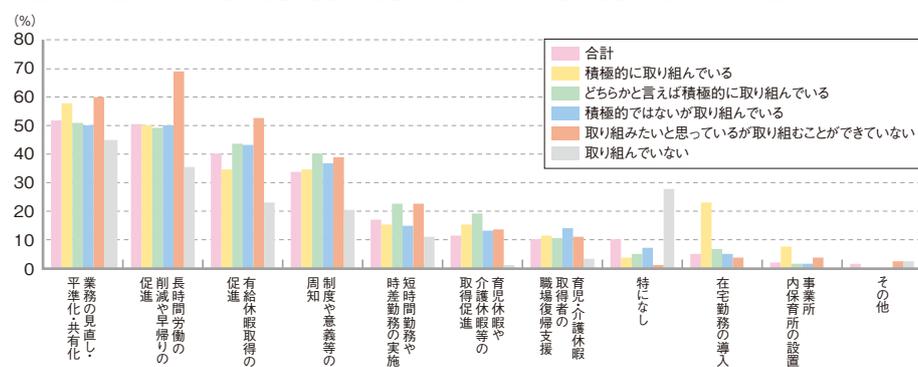
取り組み状況別に見ると、現在ワーク・ライフ・バランスへの取り組み意向を有しているものの取り組みめていない企業では「長時間労働削減や早帰りの促進」との回答が68.8%と特に高くなつており、図2にもあるように、ワーク・ライフ・バランス実現に向けての第一歩として「長時間労働削減や早帰りの促進」に取り組む企業が多いことが伺えます。

**Q. ワーク・ライフ・バランス実現のために何が必要だと思いますか？（複数回答）**

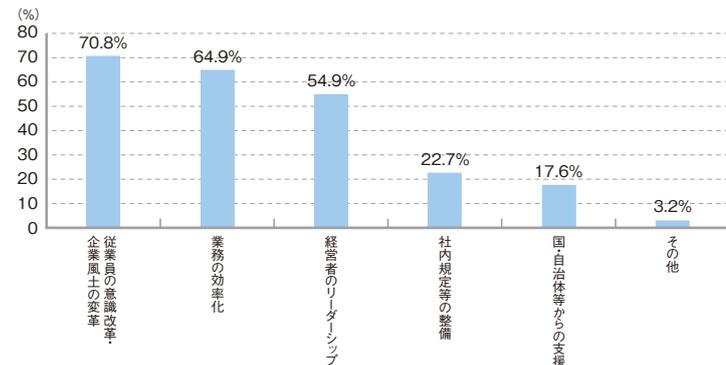
**A. 約7割の企業が「従業員の意識改革・企業風土の変革」と回答**

ワーク・ライフ・バランス実現のために必要なことについて尋ねたところ、

▼図5 今後取り組みたいこと、さらに力を入れて取り組みたいこと（取り組み状況別） n=365



▼図6 ワーク・ライフ・バランス実現のために必要なこと n=370



「従業員の意識改革・企業風土の変革」との回答が70.8%、次いで「業務の効率化（64.9%）」、「経営者のリーダーシップ（54.9%）」となりました。ワーク・ライフ・バランス実現のためには、具体的な取り組みを行うことに加えて、従業員や経営者がワーク・ライフ・バランス実現のメリットや必要性を十分に理解・認識し、一体となった取り組みを行うことが必要です。

（諸隈 あきこ）